

家畜衛生情報

香 川 県 畜 産 課
 TEL(087)832-3426~8 FAX(087)806-0204
 香 川 県 東 部 家 畜 保 健 衛 生 所
 TEL(087)898-1121 FAX(087)898-9558
 香 川 県 西 部 家 畜 保 健 衛 生 所
 TEL(0877)62-0020 FAX(0877)62-3299

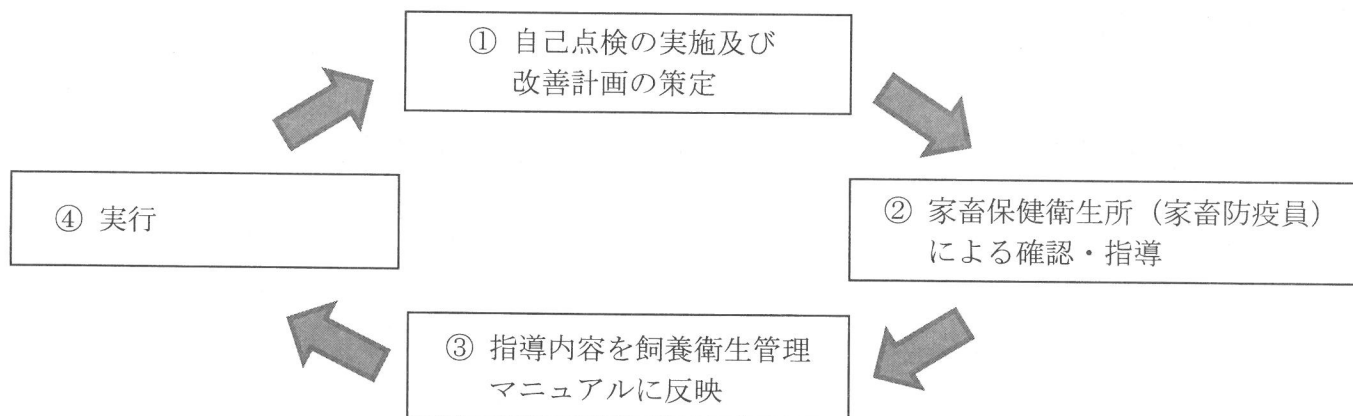
定期報告書の提出をお願いします

畜産農家の皆様に年に1度、提出をお願いしている定期報告書ですが、今年も準備をする時期がやってきました。

この定期報告書は、飼育している家畜の頭羽数の報告に加えて、農場の自己点検を実施し、飼養衛生管理基準の遵守状況を県に報告するもので、家畜の飼養者の責務です。

「いいえ」に「○」がついた項目については改善して、「はい」に「○」をつけて報告できるように努めてください。

そして、定期報告書を活用することで、下図のとおり、飼養衛生管理基準の遵守改善に向けた一連の流れを作り、農場の衛生対策の向上を図りましょう。



なお、大規模所有者については、畜舎ごとに、飼養衛生管理者を配置することが義務付けられており、全飼養衛生管理者の記載が必要になります。

家畜ごとに、指定された期日までに、最寄りの家畜保健衛生所に定期報告書を提出するようお願いします。

牛、豚、馬、水牛、鹿、めん羊、山羊、いのしし	4月15日
鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥、七面鳥	6月15日

【参考】定期報告書の様式は、農林水産省ウェブサイトに掲載されています。

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_shiyou/index.html



高病原性鳥インフルエンザ発生農場の飼養衛生管理基準の遵守状況に係る疫学調査の概要について

今シーズンの国内における高病原性鳥インフルエンザは、9県で14事例発生しています（令和4年1月20日現在）。

農林水産省のホームページには、各発生農場における飼養衛生管理基準の遵守状況に係る疫学調査チームの現地調査報告概要が掲載されており、以下のような報告がされています。詳細については、下記QRコードから御確認ください。

- ・ 農場内への入出時に車両消毒用の動力噴霧器、訪問者用の長靴、運転席フロアマット、来場者記録簿が備えられていなかった。
- ・ 堆肥場には防鳥ネットが設置されていたが、ネットや壁に野鳥が侵入可能と思われる破損部があり、堆肥場内でカラス、ネコを確認した。
- ・ 発生鶏舎内で、ネズミ類のものと思われる糞やかじり痕を確認した。
- ・ 鶏糞を搬出するベルトコンベアの鶏舎内の蓋や鶏舎外につながる開口部に、野生小動物が侵入可能と思われる隙間が確認された。

農場の飼養衛生管理基準の遵守状況の点検と、不遵守の項目の改善をよろしく願います。また、飼育する家きんに異状が見られた場合には、直ちに最寄りの家畜保健衛生所まで御連絡ください。



豚熱はワクチンのみでは発生を防げません！

本県ではR3年9月から豚熱ワクチン接種を開始し、10月上旬には県内飼養豚全頭の一齐接種が完了しました。現在は定期的に離乳豚へのワクチン接種を実施しています。10～11月に実施したワクチン接種豚の抗体検査では、99.5%が感染防御できる抗体を保有していることを確認しました。

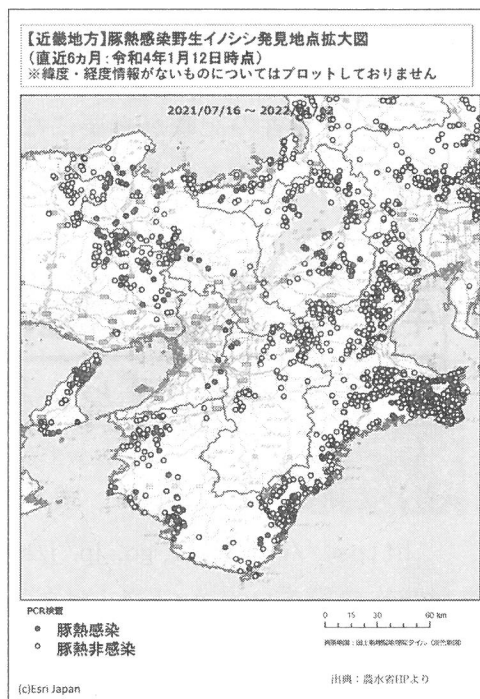
しかし、ワクチン接種県においても、散発的に豚熱の発生が確認されています。これは、主にワクチン接種前後の免疫を獲得していない離乳豚群での感染が要因とされ、豚熱陽性の野生イノシシが農場周囲に存在する状況では、ワクチンのみで感染を防ぐことは困難です。

野生イノシシ検査状況は右記のとおりで、R3年12月末現在、県内の野生イノシシは全て陰性でした。しかし、近隣では兵庫県で感染野生イノシシが断続的に確認されており、12月末に南あわじ市でも確認され、県内への侵入リスクは高い状況にあります。今後とも飼養衛生管理基準を遵守し、農場内へのウイルス侵入防止に努めてください。

令和3年度 県内の野生イノシシ検査頭数 (12月末現在)

市町	頭数
高松市	61
丸亀市	16
坂出市	18
観音寺市	7
さぬき市	25
東かがわ市	24
三豊市	13
土庄町	65
小豆島町	139
三木町	6
多度津町	3
まんのう町	26
合計	403

全て陰性



牛伝染性リンパ腫(旧名:牛白血病)対策について

牛伝染性リンパ腫 (EBL)(旧名:牛白血病)は白血球(リンパ球)の異常増殖や腫瘍化が起こる病気
で、全国的に発生頭数が増加し、2019年には4,000頭
を超える発生が報告されており、香川県でも昨年は、
毎月2頭以上発生しています。次のような対策を実施
し、EBLによる被害を防止しましょう。

- ・人為的な伝播を引き起こす行為の排除

注射針、直検手袋の確実な交換

- ・飼養者の自農場の浸潤状況の把握

- ・農場内感染拡大防止対策

感染牛の計画的な更新

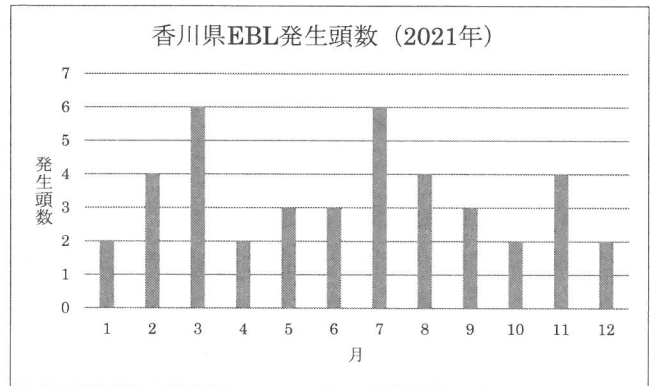
非感染牛由来の初乳給与、初乳の加温や凍結処理
ネットの設置等による吸血昆虫による機械的伝播
の防止

感染牛と非感染牛の分離飼養

- ・農場間伝播防止対策

検査による非感染牛の導入

放牧場における感染牛群と非感染牛群の区分放牧



疾病情報

家畜伝染病・伝染性疾病発生状況(近県)

疾病名	畜種	発生場所	発生時期	発生戸数	発生頭羽数
ヨーネ病(法定)	牛	岡山県、高知県	R3.6月～7月	2	2
牛ウイルス性下痢(届出)	牛	岡山県、鳥取県、香川県	R3.7月、8月、10月	4	9
牛伝染性リンパ腫(届出)	牛	兵庫県、岡山県、広島県、鳥取県 島根県、山口県、愛媛県、徳島県 高知県、香川県	R3.6月～10月	128	166
牛丘疹性口炎(届出)	牛	兵庫県	R3.10月	1	1
破傷風(届出)	牛	岡山県、島根県、山口県	R3.6月、8月～10月	7	7
ネオスポラ症(届出)	牛	香川県	R3.7月	1	1
豚繁殖・呼吸障害症候群(届出)	豚	徳島県	R3.7月	1	4
豚丹毒(届出)	豚	兵庫県、広島県、鳥取県、島根県 愛媛県、徳島県、高知県、香川県	R3.6月～8月	35	80
豚赤痢(届出)	豚	岡山県	R3.8月	1	3
サルモネラ症(届出)	豚	徳島県	R3.7月	1	3
サルモネラ症(届出)	鶏	兵庫県	R3.8月	1	2
マレック病(届出)	鶏	岡山県	R3.9月	1	5
ロイコチトゾーン症(届出)	鶏	兵庫県	R3.8月、9月	2	14
バロア症(届出)	蜜蜂	広島県、鳥取県	R3.8月～10月	3	25
アカリンダニ症(届出)	蜜蜂	広島県、鳥取県、山口県	R3.7月、10月	3	3
レプトスピラ症(届出)	犬	兵庫県、広島県、高知県	R3.7月、9月、10月	3	3

新人だより

はじめまして。令和3年4月より畜産試験場の酪農・肉牛担当に配属になりました妹尾明花（せおはるか）と申します。出身は福岡県で、鹿児島大学を卒業しました。鹿児島県では名物である黒豚のしゃぶしゃぶを堪能したり、桜島や霧島といった観光地を巡ったりと充実した日々を過ごしていました。香川県での生活は、気候は温暖で食べ物も美味しく、とても魅力的と感じています。

配属からもうすぐ1年になり、ようやく日々の業務にも慣れてきました。しかし、まだわからないことも多く、周りの方々の教えをいただきながら日々職務に励んでおります。少しでも早く香川県の畜産を担っていけるよう精進いたしますので、よろしく願いいたします。

はじめまして。令和3年4月より畜産試験場の養鶏担当に配属になりました大川真実（おおかわまみ）と申します。出身は高松市の屋島で、香川大学に進学しました。ずっと香川に住んでおり、これまで一番に残っている場所は小豆島の寒霞渓です。特に秋の寒霞渓は美しく、渓谷に広がる紅葉をロープウェイで間近で見る景色はまさに絶景でした。趣味は合気道と卓球です。合気道は大学から始め、現在は三段であり参段取得に向けて日々稽古に励んでいます。

幼いころから興味があった畜産研究に携われることになり、とても嬉しく思います。未熟者ではございますが、香川県の畜産の発展に貢献できるように業務に努めてまいりますので、よろしく願いいたします。



左：大川真実 右：妹尾明花

<お知らせ>

○第85回香川県畜産共進会の結果について

【農林水産大臣賞受賞者】

出品区分	名号	受賞者
第2部（肉用種牛） 第2区	みお	高松市 渡邊隆司 氏
第3部（肉 豚）	タクト1	綾川町 (株)STPF 太田卓人 氏
第4部（肉 牛） 第1区		三豊市 安藤勝賛 氏

※第1部（乳用牛）は中止

※本県畜産共進会受賞一覧については、ウェブサイトのURLかQRコードよりご確認ください <https://www.pref.kagawa.lg.jp/chikusan/sogo/topics/kyousinnkai.html>



○令和4年度ヨーネ病定期検査予定地域について

令和4年度の搾乳又は繁殖のために飼育している雌牛等を対象に実施しているヨーネ病の定期検査対象地域は、高松市、観音寺市、三豊市、まんのう町の各一部地域を予定しております。対象農場の方々には、令和4年4月以降にご連絡します。